

2025年国際博覧会の誘致の推進に関する決議

(平成29年12月26日 原案可決)

我が国は、2025年国際博覧会（登録博覧会）の開催国に立候補し、「いのち輝く未来社会のデザイン」をテーマに、関西地域の大阪府を会場として開催することを目指している。

国際博覧会を大阪・関西が一体となって開催することは、日本の歴史・文化の原点である関西の素晴らしさを世界の人々に理解してもらう機会となり、関西全体の観光・文化・交流の促進につながるものである。

また、関西には世界最先端のライフサイエンスの研究拠点が集積し、高い生産技術を有する製造業が備わっていることから、健康・長寿という世界的な課題を解決する未来技術を生み出す産業イノベーションを喚起できる。

「日本遺産」2つの認定、ユネスコ創造都市ネットワーク加盟及び景観まちづくり刷新モデル都市にも選ばれた篠山市としても、農村地域における多様で心身ともに健康な生き方や、持続可能な社会・経済システムの魅力を発信するまたとない機会である。

2020年東京オリンピック・パラリンピック、2021年ワールドマスターズゲームズ関西などの国際的な大会の理念と成果が、2025年国際博覧会へ引き継がれ、次世代への資産となり、関西・日本の更なる発展につながることを大いに期待される。

よって、篠山市議会は、大阪・関西における国際博覧会の開催を支持し、誘致の実現に向けた気運の醸成など、必要な取組を積極的に推進する。

以上、決議する。

平成29年12月26日

篠山市議会